

# 校長室の窓から

## あなたの夢はなんですか？

1月8日 朝会「校長先生のお話」から

あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

初夢は見ましたか？見た人も見てない人もいい年になるといいですね。

「みなさんは夢はもっていますか？」って後期の始業式にみなさんにお話しました。あの時は、大谷翔平選手がどうやって夢をかなえたか？を話しましたね。そして、目標を立てたら、どうやってそれを達成するかの話もしました。あれから、しばらくたちましたので、また、みなさんに、「どんな夢をもっていますか？」を聞いてみたいと思います。

これ、何の写真か分かりますか？そう、よく分かったね。これは地雷（じらい）と言って、地面の中に埋め込む爆弾のことです。これが世界中にどれくらい埋められているか？なんと1億1千万個埋まっています。多すぎて想像がつかない数ですね。数で言うと、日本の人口と同じくらいです。でも、日本に地雷は埋まっていないから、安心してください。これは、今、戦争をしている、あるいはかつて戦争をしていた国や地域に埋められています。この写真を見てください。地雷を踏んでしまい、怪我をしてしまった人の写真です。こうした地雷を踏んでしまいそれが爆発して亡くなったり、怪我をする人は20分に1人の割合で、毎日犠牲になる人が出ています。



さて、今現在、(内戦・紛争を含めて) 戦争をしている国や地域ってどれくらいあるんだろう？ウクライナ、ロシア、イスラエル・・・それぐらいかな？では、この地図を見てください。あまりニュースにはなっていないけど、アフリカが多いね。これを見ると50以上の国や地域が戦争をしているようです。日本に住んでいる私たちは本当に幸せですね。

そんな地雷を機械を使って一つ一つ探し出して、取り除いてくれている人がいます。こうやって一つ一つ探し出しているんですね。上からは爆弾が見えないから、とっても危険な作業ですね。さて、世界中にあるこの地雷、全部取り出すまでに何年かかると思いませんか？・・・・・・・・・・。1100年です。とんでもない年数で気が遠くなりますね。



爆弾を作って埋めるのも、探し出して取り除くのも人間なんだね。なんだか、悲しくなるね。

この写真はなんでしょう？そう、兵隊。しかも子供です。「少年兵」って言われています。国際条約(世界で決めたルール・約束)では子供を兵隊に入れることは禁止されています。多くの国ではこのルールが守られず、子供たちが戦争に加わっているんですね。本当に怖いですね。



これは、何の写真でしょうか？「何をしているかな？」「移動している」「食べ物をもっている」そうだね。こういう人たちを「難民（なんみん）」と呼ばれています。戦争のために、多くの子供たちが自分の生まれた国、ふるさとは住めなくなり、他の国に逃れていく人たちなんです。このような人たちに食料や薬を送ってあげないと、死んでしまいます。



こちらは、何の写真でしょうか？これはウクライナの写真です。みんなもニュースで一度は見たことがあるかもしれません。戦争が始まってからもう2年以上が経っています。これはウクライナのキーウという町で戦争で壊された自分の家を見て、立ち尽くしている女の子です。世界には本当に生きていくことが大変な子供たちがたくさんいます。



世界中に赤十字という団体があります。もちろん日本にもあります。その団体が世界中の子供たちに尋ねました。

「あなたの夢は何ですか？」こちらを見てください。世界の子供たちはどんな風に答えていますか？

【インドネシアの男の子】・・・「国のために役立つ人になりたい」

【クウェートの女の子】・・・「平和と愛でいっぱいの子供生活してみたい」

【ケニアの女の子】・・・「人の痛みや苦しみを取り除いてあげたい」

【スロバキアの女の子】・・・「全世界が平和になること」

世界中の子供たちがみんな夢を持っていますね。「みなさんの夢と比べてどうでしたか？」ここで紹介した世界の子供たちの夢はみなさんの夢とちょっとちがっていたかもしれません。みなさんの夢も世界の子供たちの夢もどちらも同じく大切なものです。

みなさんが毎日学校に来て、「仲間と勉強するのは何のためでしょうか？」「それは、夢をもつためです」みなさんの夢はまだ決まっていなくてもいいです。決まっている人は、その夢がこれから変わっていてももちろんかまいません。将来どんな夢をもったとしても、それは「誰かの役に立つ」夢だからです。誰かの役に立つということは、みんなの幸せのためになるということです。みなさんは、自分の夢を見つけて、誰かの役に立つ、みんなを幸せにする人になるために今勉強しています。今日も、これからも自分の夢を見つけるためにしっかり勉強をがんばってください。